

- この地図は、流木の堆積範囲等について、災害後の国土地理院および各航測会社が撮影した空中写真を用いて判読を行った結果（7月25日公表）を、妙見川・奈良ヶ谷川での現地調査結果をふまえて更新したものである。
- 流木の堆積範囲は、流木量の概数に応じて4区分し、色分けして表示した。
- 推定流木発生域は、崩壊範囲のうち崩壊前に樹木が分布していたと推定される範囲を表示した。

平成29年7月25日公表
平成29年8月10日更新



堆積流木量の区分(目安)



概ね10本未満(奈良ヶ谷川)



概ね10～50本程度(妙見川)



概ね50～100本程度(妙見川)



概ね100本～(奈良ヶ谷川)

推定流木発生域の判読方法

推定流木発生域は、崩壊範囲のうち、崩壊前に樹木が分布していたと考えられる範囲を判読した。

判読例

1. 国土地理院航空写真(正射画像)より、崩壊範囲を判読(赤実線)
2. 崩壊前の画像(地理院タイル等)より、崩壊前に樹木が分布していたと考えられる範囲を判読
3. 1.と2.を重ね合わせ、推定流木発生域を表示



妙見川における流木の主な堆積状況

- 主な流木の堆積は、「崩壊斜面の下部」、「支溪流と溪流の合流点付近」、「合流点付近に堆積した支溪流からの流出土砂の上流部」、「流路屈曲部の外湾部」、「砂防堰堤」等で認められた。
- 妙見川本川への土砂流出は、ほとんどの支溪流で確認された。



崩壊した斜面の下部に堆積する流木



侵食により流木の発生が推定される溪岸と、その直下に堆積する流木



支溪流との合流点付近に堆積する流木



須川第一砂防堰堤に堆積する流木



溪流の合流点付近に堆積した支溪流から流出土砂の上流部に堆積する流木



流路屈曲部の外湾部側に堆積する流木



妙見川流域

← 川の流れる方向を示す

奈良ヶ谷川における流木の主な堆積状況

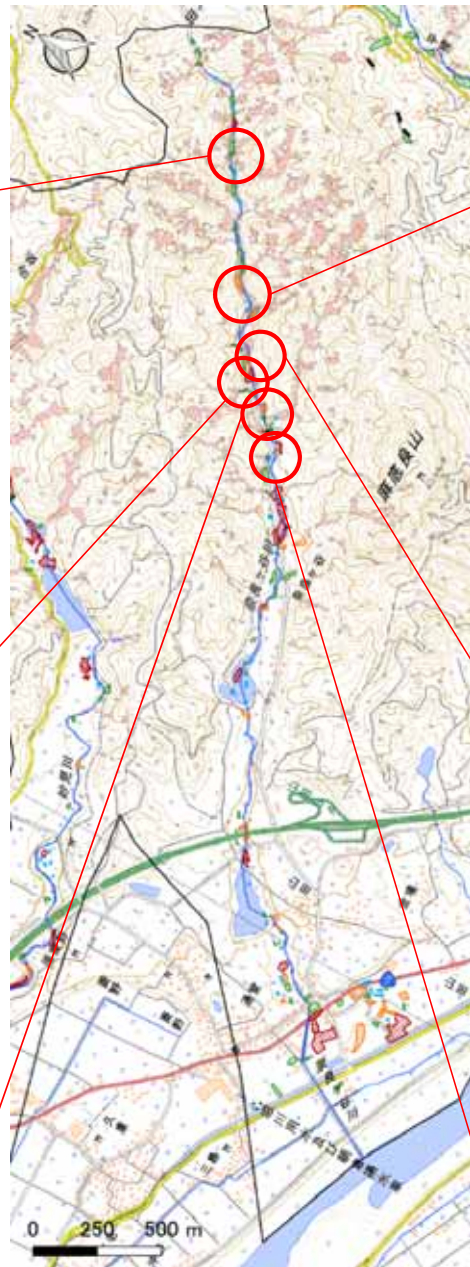


国立研究開発法人
土木研究所

- 主な流木の堆積は、「崩壊斜面の下部」、「支溪流と溪流の合流点付近」、「流路屈曲部の外湾部」等で認められた。
- 奈良ヶ谷川本川では、流木が川幅全体に堆積し、その上流側に土砂の堆積が認められた箇所も確認された。
- 奈良ヶ谷川本川へ土砂の流出は、ほとんどの支溪流で確認された。



崩壊した斜面の下部に堆積する流木



奈良ヶ谷川流域



侵食による流木の発生が推定される溪岸



川幅全体に堆積する流木、上流側には土砂の堆積が認められる



支溪流と溪流の合流点付近に堆積する流木



支溪流から流出した土砂と流木



流路屈曲部の外湾部側に堆積する流木

← 川の流れる方向を示す